

何にでも前向きに!新たな発見がきっとあるはず。

大寄由美子 (キヤノン株式会社 オプティクス技術開発センター)

仕事の内容とやりがい

入社以来、画像処理や光計測分野に関わってきました。新たな技術を提案し、製品や装置として実現するためには、チームワークがとても重要です。技術の実現に向け、細かい課題に分解し、その課題1つ1つに対して各メンバーが地道な努力を重ねて解決の糸口を探し、最終的な形にまとめていきます。課題が解決できない時には苦しい日々が続きますが、多くの人に関わって製品や装置が立ち上がると、私自身は微力ながらも喜びを感じます。

仕事と生活のバランス

2人の子育てと仕事は、どちらも思うとおりに出来ず、中途半端だと悩みながらの毎日です。日々の生活は保育園・学童保育と主人のサポートで成り立っていますが、出張の多い主人が留守の時に限って子供が体調を崩すので、体調管理と仕事の効率化と質の向上が今の課題です。子供の成長は目覚しく、大きな喜びを与えてくれます。子育てと仕事はどちらも自分にとって大切なもので、職場の上司や同僚、家族の大きな理解に支えられて今まで両立できていることに、日々感謝の気持ちでいっぱいです。試行錯誤を繰り返し、楽しみながら乗り越えていけたらと思っています。

進路決定のきっかけ

高校では特に理系の科目が得意だった訳ではなく、やりたいことも明確ではありませんでしたが、漠然と長く続けられる仕事をしたいと思っていました。そんな頃、「物理実験」という選択授業を通し、数式で現象を予想し、自分の手を動かし確認し考察するという、物理の楽しさを改めて実感しました。さらに、専門性を持つことが出来ると薦めてくださった物理の先生や、技術者だった父の存在も大きかったと思います。そして大学では、教授や研究室での出会いを通じて光の魅力を知り、研究に対する姿勢を教えていただき、今の私につながっています。

進路選択に対してのメッセージ

私もその一人でしたが、進路を決める際にやりたいことが明確になっている人ばかりではないと思います。そんな時には、最初から理系は無理、この分野は興味がないなど、自分から線を引いてしまわず、まずは色々なことにチャレンジし、一生懸命取り組んでみると、新たな発見や興味が見つかるかも知れません。自分の気持ちに素直になればきっと可能性が広がるはずです。たくさんの人との出会いも、視野を広げるきっかけになると思います。苦手意識は心の奥にしまっ、まずはやってみようという取り組み姿勢を持つことは、私が仕事をする上でも心がけていることです。



<大寄由美子(おおさきゆみこ)プロフィール>

日本女子大学附属高等学校卒業

日本女子大学家政学部理1学科(現 理学部数物科学科)卒業

キヤノン株式会社入社

結婚

第1子出産、育児休業後復職

第2子出産、育児休業後復職し、現在に至る